八王子市障害者地域自立支援協議会　全体会

資料２-１

権利擁護推進部会　下半期活動報告

１．定例会

　下半期は2024/11/13、12/11、2025/1/22、2/12、3/12（予定）、10:15～11:45の時間で、八王子市役所にて開催している。議題はいちょう祭り振り返り、障害者サポーター養成講座、虐待防止研修の企画など来年度の活動計画が主なものである。来年度も引き続き、月1回のペースで開催する。

２.　いちょう祭り

　2024/11/16、17の2日間開催されたいちょう祭りに、権利擁護推進部会として八王子市の障害者差別禁止条例の周知、障害・障害者理解の普及・啓発を図るため、障害について学べる内容のクイズコーナー、手話体験コーナー、点字体験コーナー、デイジー図書体験コーナーを出展した。来場者は延べ1,400名であり盛況であった。今年も帝京大学の学生がボランティアとして20名ほど手伝ってくれた。対話や交流を通してイベントができたことが有意義であった。来年度以降、権利擁護の更なる推進のためにはどのような活動が効果的なのかを検討していく。

３．障害者サポーター養成講座（予定）

　2025/2/27、18:30～20:30に八王子市役所にて開催。八王子市民を対象に20名定員で募集をしたところ定員一杯の申込みがあった。今年度は3回開催する予定であったが第2回目（昨年8月）は悪天候のため中止となり、今回が2回目となる。この講座では部会で構成を考え、合理的配慮の具体案や障害者に対する接し方など、ファシリテーターとの対話や参加者同士でのグループワークを通じて学べるような内容を企画し、学んでもらっている。来年度は会場・時間帯の見直しを検討し、より多くの方に参加できるような講座にしていく。

４．障害者サポーター養成講座ファシリテーター養成（予定）

　前述した障害者サポーター養成講座と同日、初の試みとして障害者サポーター養成講座のファシリテーター養成を目的とした説明会を実施。聴覚障害のある方3名、健常者1名が参加。ファシリテーターは障害者サポーター養成講座受講者が安心して平等に発言し、障害の社会モデル、合理的配慮の理解を深めることを支援する役割を担う。これまでは権利擁護推進部会の部会員がファシリテーターを担当していたが、ファシリテーターを養成することで、より多くの市民の方に受講して頂ける機会を設ける。そして、様々な障害種別の方、障害のない方も含め、一緒に八王子市の障害者差別解消の取り組みに協力してくれる方との繋がりの機会を設け、新たな視点を取り入れ講座の内容の充実を図る。

５．その他

以下、本年度の活動として予定しているものであり、現時点で準備を進めている。

（１）虐待防止研修：障害者福祉課で動画を作成中

（２）八王子市職員研修：eラーニングを使って研修を行う予定

資料２-１

（３）障害理解の授業の実施状況調査：障害者福祉課で障害理解の授業の実施状況及び小学生向け障害理解のガイドブック「みんなちがってみんないいタブレット版」の活用状況について小学校に調査を実施中